

教育事務所だより

平成 28 年 3 月 24 日発行

学校文化の継承と世代交代

所長 奥村 忠孝

キーワード「前向きな世代交代」

今年 2 月の「内外教育」の 1 面に「教師文化の継承を急げ」と題する東京学芸大の児島邦宏名誉教授の提言が掲載されていました。その内容は、我が国において高い学力水準が維持されてきたのは、先輩教師たちが積み上げてきた指導の力量によるものであること、現在はそれを受け継ぐ最後の時機に直面しており、継承はベテラン教師の使命でもあることを強い危機感をもって示されたものでした。

この教師文化の継承は、島根県、中でも教師の平均年齢が高い松江管内において、特に切実な課題となっています。また、これは教師文化に限らず、学校文化全体の継承に当てはまるものであると考えます。

その意味で、島根県公立小中学校事務職員研究会が課題解決の視点の一つとしている「前向きな世代交代」という言葉に大きな魅力を感じます。その意味するところは「誰にとってもプラスの要素をもたらす世代交代」と示されており、継承に関わる双方が自らを成長させていくことにつながる世代交代をしていこうとする姿勢を表した言葉であり、学校文化の継承を考えたとき、重要な視点と言えるでしょう。

まず型を受け継ぐこと

ある文化の継承を考えたとき、思い浮かぶのが、近年亡くなられた歌舞伎役者の中村勘三郎さんの座右の銘であった「型があるから型破り、型がなかったら形無し」という言葉です。元々は無着成恭さんのラジオ子ども電話相談での子どもへの回答だったのらしいですが、勘三郎さんはこの言葉にいたく感銘し、次々と新しい試みに挑戦し、革新的な舞台を創造する一方、「伝統」という言葉にこだわり、後継者である我が子や弟子に対し

て、徹底的に基本をたたき込んだと言われています。文化の継承を考えたとき、私たちはそれぞれ何を伝えていくべきなのか、また何を引き継いでいけばよいのか、まさに型、基礎基本は何なのかを考えるべきなのではないでしょうか。

では、〇〇の基礎基本とは？

先日、松江地区公立小中学校事務職員研修会でのあいさつの中で、同じようなお話をして、「何事にも基礎基本があると思います。授業にも基礎基本がありますが、学校事務の基礎基本とは何でしょうか」と問いかけました。何気なく問いかけたのですが、後になってよく考えてみると、授業の基礎基本とは何でしょうか。あるいは、「担任の基礎基本」とは、もっと細かく「〇年生担任の基礎基本」、さらに「あなたが受けもっている『〇年〇組担任の基礎基本』とは何ですか」と問われたら、明確に答えることができたでしょうか。

担任だけでなく、各教科の授業の基礎基本、教務や研究など各分掌の基礎基本などと、それぞれの基礎基本がありそうです。松江教育事務所管内では、向こう十年で半数以上の教職員の入れ替わりがありそうです。この期間に、最低限何を伝え、何を引き継がねばならないのか、まさに各立場での基礎基本を考え、継承していくことは焦眉の急と言えます。

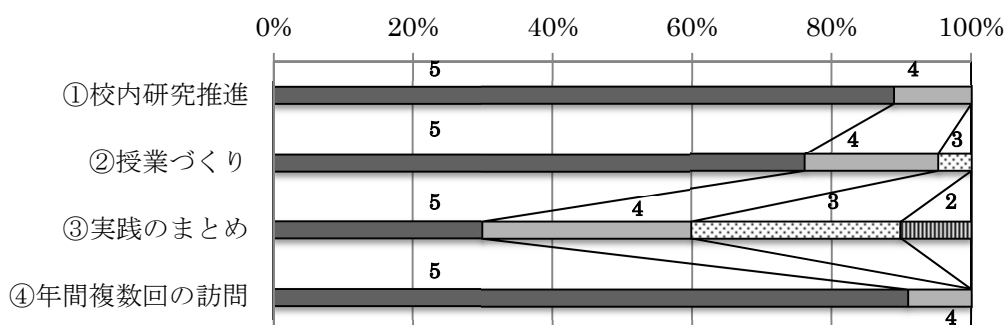
世代交代は得意分野です

このように考えていくと、焦りすら感じてしまいますが、本来、世代交代は、私たち教職員の得意分野のはずです。なぜなら教育は、よりよい世代交代のためのものであり、私たちが日々行っている教育活動は、文化の継承という面も担っているからです。伝える方は話したり、やって見せたり、後ろ姿で語ったりし、受け継ぐ方は、質問したり、見せてもらったり、指導を受けたりしながら、「前向きな世代交代」をしていきましょう。そして、学校文化をよりよく継承し、後の学校教育が「形無し」にならないようにがんばろうではありませんか。

学校の学力育成PDCA サイクル構築に 「継続型訪問指導」をぜひご活用ください！



今年度から新規実施した「継続型訪問指導」には多くのご希望をいただきありがとうございました。管内12の実施校の事後アンケートの結果概要をご紹介します。それぞれの項目の助言・指導について、「役立った（5）」から「役立たなかった（1）」までを5段階で評価していただきました。グラフ内の数字はこの評価を示しています。また、枠内のような感想をいただきました。



○複数回来ていただけたので、全校で授業研究をし、学ぶ場があったり、5・6年担任がじっくりと学ぶ場があったり等、いろいろなパターンの訪問を柔軟にいただけた。教員の指導力向上につながり大変良かった。

○「継続型」というところに、ずっと支えていただいたという体制があり、とてもありがたく感じました。（中略）このような体制のもと、校内研究を進めていくことができることを喜んでいます。

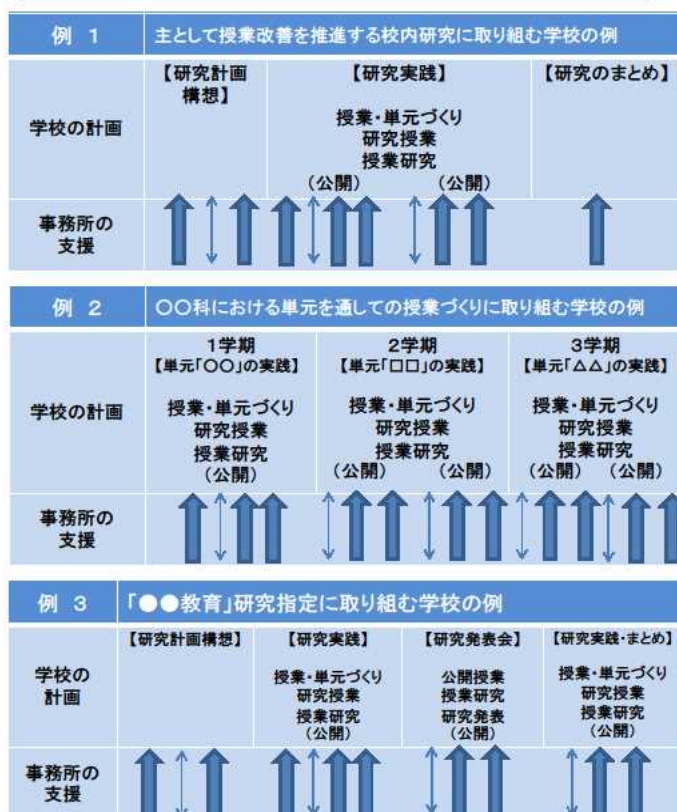
○複数回助言していただいたので、授業の中身が濃く深いものになった。本校としての研究も深まるし、授業者の成長にもつながっている点で、とても有意義な取組であると思う。研究授業当日だけでなく、事前に相談を重ねられる点が継続型訪問指導の最も良い点だと考えている。ぜひ来年度以降も、取組を継続してほしい。

12校中9校は右の図の例3のように、研究発表会や教研大会等の会場校であり、研究発表会や教研大会等の当日までに、平均6回、多い学校で12回の継続的な助言・指導をさせていただきました。しかしながら、右の図のように、通年での助言・指導を想定していたものの、活用方法についての説明が不十分だったこともあり、3学期に行われる「実践のまとめに係る助言・指導」については、ほとんど活用されませんでした。

例1～3の他に、学校の研究計画構想(P)、1学期の研究授業・授業研究(D)、全国学力調査の分析(C)、2学期の研究授業・授業研究(A)、県学力調査の分析(C)、3学期の研究授業・授業研究(A)、研究のまとめと次年度に向けての研究計画構想(P)といった、学校の学力育成PDCAサイクルに合わせた活用もできますので、来年度に向け、是非ご検討ください。

また「今年度初めての訪問指導の形態であったために、どのような進め方をすればよいか、わからない面もあった。今年度他校がどのようにこのシステムを活用しておられたかを知りたい。」というご要望がありましたので、右のページで安来市立第三中学校の活用事例を紹介いたします。

継続型訪問指導の例



継続型訪問指導の活用事例～安来市立第三中学校～



安来市立第三中学校は、「第20回島根県特別活動研究大会（安来大会）」の会場校になったことをきっかけに、継続型訪問指導を希望され、「豊かなかかわり合いの中で、主体的に課題を解決していく生徒の育成」をめざし、学級活動に焦点をあてた実践研究に取り組みました。希望調査の段階では、事前授業公開・研究協議の2回の訪問指導のみ希望されていましたが、実際には8回の訪問指導を求められました。また、事務所に来られたり、メール・電話・fax等で相談されたりもしました。その結果、学級活動の授業改善のみならず、特別活動の全体計画、年間指導計画、評価の見直しについても、ご活用いただくことができました。

研究指定等に係る継続型訪問指導を希望される場合は、この事例を参考にいただき、さらには大会後の研究実践のまとめや、次年度の研究計画を立てる際の活用もご検討ください。

回数・月日	方法・内容	助言・指導対象者
① 6月16日	訪問（3年生事前授業指導案協議）	研究主任，特別活動主任， 3年部教員
② 6月22日	来所（3年生事前授業指導案検討）	3年生事前授業者
	電話・fax（3年生事前授業指導案検討）	3年生事前授業者， 3年部教員
③ 6月30日	訪問（3年生事前授業公開・研究協議）	全教職員
④ 8月26日	訪問（大会当日の2年生・3年生指導案協議）	研究主任，特別活動主任， 2・3年部教員
	電話・メール（大会要項に掲載する指導案原稿の検討）	研究主任，特別活動主任， 2・3年部教員
⑤ 9月29日	訪問（研究構想の見直し，評価についての検討）	研究主任，特別活動主任
	メール・fax（3年生大会指導案検討）	3年生大会授業者
⑥ 10月15日	訪問（2年生事前指導案協議）	研究主任，特別活動主任， 2年部教員
⑦ 10月23日	訪問（2年生事前授業公開・研究協議）	全教職員
⑧ 11月19日	訪問（全体計画・年間指導計画・評価についての整理）	研究主任，特別活動主任
11月27日	訪問（大会当日指導助言者）	大会参加者

実施しようとしている題材は学級活動（1）で実施すべきか迷いが生じたので、事務所に行って相談。

学級活動（1）は、切実な課題で話し合うことが最も大切であることや、学級活動（2）、（3）との違いについて全員で共通理解。

助言・指導を受ける中で研究構想等を見直した方がよいと考え、相談。

実践を積み重ねたことで、全体計画、年間指導計画、評価の整理が必要だと考え、相談。

研究発表では、学級活動の話合い活動を事前事後の指導を含めた一連のプロセスでとらえた実践と、3年間の見直しをもった学級活動の在り方をわかりやすくプレゼンされ、大変参考になる発表でした。3年生公開授業「学級目標達成のための取組の見直しを通して、よりよい学級を目指そう」では、学級目標をPとした、生徒の主体的な学級活動をPDCAサイクルに位置付け、しっかりと事前活動から取り組まれた結果、生徒自身の問題提起による活発な学級会が行われました。2年生公開授業「地域に役立つ個性を生かしたボランティアを考えよう」では、体験に基づく話合いにより、自分に適したボランティア活動について考えを深めました。いずれも学級活動（1）、（2）のモデルとなる素晴らしい実践でした。

平成28年度 管内研修会等予定

H28. 3. 22 現在

松江教育事務所

月	日(曜)	研 修 会 等	会 場
4	14(木)	新任講師等研修, 講師等対象授業づくり研修第1回	島根県教育センター
	15(金)	H28 初任者研修・新規採用養護教諭研修・新規採用栄養教諭研修連絡協議会第2回	松江合同庁舎
	19(火)	全国学力・学習状況調査	各学校
	28(木)	小・中学校特別支援学級・通級指導教室新任担当教員研修第1回	島根県教育センター
5	13(金)	管理職研修(新任校長)第1回	島根県教育センター
		中学校免許外教科担任・非常勤講師実技教科教育研修(技術分野)	浜田教育センター
	18(水)	情報モラル教育推進研修(安来市中学校)	島根県教育センター
	25(水)	小・中学校教務主任研修	島根県教育センター
		生徒指導主任・主事等研修(松江市小・中学校)	島根県教育センター
		キャリア教育研修(中学校)	松江合同庁舎
	26(木)	新任特別支援教育コーディネーター研修	島根県教育センター
		中学校免許外教科担任・非常勤講師実技教科教育研修(音楽)	浜田教育センター
6	27(金)	教育施策説明会(校長対象)	松江合同庁舎
		管理職研修(新任副校長・新任教頭)第1回	島根県教育センター
		生徒指導主任・主事等研修(安来市小・中学校)	伯太わかさ会館
	1(水)	中学校免許外教科担任・非常勤講師実技教科教育研修(美術)	浜田教育センター
	2(木)	にこにこサポート事業担当者研修	島根県教育センター
	3(金)	小・中学校新任研究主任等研修	島根県教育センター
		情報モラル教育推進研修(松江市中学校)	島根県教育センター
	10(金)	小・中学校事務職員新人事務リーダー研修第1回	島根県教育センター
	15(水)	人権・同和教育主任等研修	松江合同庁舎
		日本語指導が必要な児童生徒教育研修	出雲合同庁舎
7	22(水)	スクールカウンセラー活用事業連絡協議会	松江合同庁舎
		管理職研修(2年目副校長・2年目教頭)第1回	松江合同庁舎
	29(水)	小・中学校道徳教育研修(安来市)	伯太わかさ会館
		教科用図書無償給与事務説明会	島根県教育センター
	30(木)	主幹教諭研修(新任), 主幹教諭研修(2年目以降)	島根県教育センター
		小・中学校道徳教育研修(松江市)	松江合同庁舎
	7(木)	小・中学校事務職員事務主幹研修(～8日)	浜田教育センター
	13(水)	小・中学校事務職員新人事務リーダー研修第2回	島根県教育センター
8	15(金)	養護教諭研修	松江合同庁舎
		管理職研修(新任副校長・新任教頭)第2回	島根県教育センター
	27(水)	管理職研修(3年目副校長・3年目教頭)	島根県教育センター
		グローバル化に対応した外国語教育研修(小・中学校 29日)	島根県教育センター
	28(木)	中・高等学校学校図書館活用教育研修	出雲合同庁舎
		学校安全(災害安全・生活安全・交通安全)研修	松江合同庁舎
	30(土)	科学の甲子園ジュニア1次予選	くにびきメッセ
9	1(月)	特別支援学級担任3年目研修	島根県教育センター
	2(火)	小学校学力育成リーダー研修	松江合同庁舎
	3(水)	学校と地域の連携実践研修	松江合同庁舎
	9(火)	講師等対象授業づくり研修第2回	松江合同庁舎
	16(火)	ミドルリーダー宿泊研修(～18日)	サンレイク
	18(木)	小学校体育実技研修(～19日)	松江市立島根小学校
	19(金)	中学校免許外教科担任・非常勤講師実技教科教育研修(家庭分野)	浜田教育センター
10	9(金)	小・中学校事務職員事務リーダーフォローアップ研修	浜田教育センター
	21(水)	小・中学校事務職員主事研修	島根県教育センター
	23(金)	栄養教諭研修	松江合同庁舎
	29(木)	中学校体育教員武道・ダンス研修(～30日)	島根県立武道館 他
11	14(金)	管理職研修(2年目副校長・2年目教頭)第2回	松江合同庁舎
	19(水)	通級指導教室担当教員等研修	島根県教育センター
	20(木)	小・中学校事務職員事務主幹フォローアップ研修(～21日)	浜田教育センター
	30(日)	しまね数リンピック	松江合同庁舎 他
12	16(水)	管理職研修(新任校長)第2回, 管理職研修(2年目校長)	島根県教育センター
	18(金)	小・中学校特別支援学級・通級指導教室新任担当教員研修第2回	島根県教育センター
1	13(火)	島根県学力調査(～14日; 2日間で実施する場合)	各学校
2	25(水)	松江地区人権・同和教育地域推進ネットワーク事業連絡協議会	松江合同庁舎
3	3(金)	管理職研修(新任副校長・新任教頭)第3回	島根県教育センター
3	27(月)	H29 初任者研修・新規採用養護教諭研修・新規採用栄養教諭研修連絡協議会第1回	島根県教育センター

- ゴシック体は, 全ての学校から参加していただく研修等になります。
- 今後, 変更になる可能性があります。必ず「平成28年度島根県教職員研修計画一覧表」で確認願います。
- 初任者研修, 新規採用者研修, 経験者研修, 能力開発研修等については掲載していません。